

平成29年度第二回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日 時 平成29年7月18日(火) 14:00～15:00
- ② 場 所 伯寿の郷 ユニット会議室
- ③ 参加者 小原國子様、秦和男様、佐伯和子様、河野友香様、小松原祐二様
谷上相談員、遠藤サブリーダー
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1.生活記録について

生活記録の説明の前にご利用者代表の小原様よりお話しを伺う。

遠藤サブ「小原さん、ここでの生活はどうか。こないだ家に帰りましたよね、良かったですか。」

小原様「そうかもしれません。」

秦様「小原さんは赤屋の方ですか。」

小原様「はい。(うんうんと頷かれる)」

小松原様「小原さんは足が不自由ですか。」

遠藤サブ「立位の保持等は出来ますが、歩行は難しいですね。最近入居されましたが状態は安定しています。」

秦様「場所が変わると寝れないといった事はありませんか。」

谷上相談員「人によっては環境の変化に弱い方もいらっしゃいますが、小原様は夜間よく休まれています。」

小原様は体調を考慮し、途中退席とする。

谷上相談員より、ご利用者の生活の様子について、外出やユニット内での調理の報告、一時帰宅等についての報告を行う。

2.地域交流について

谷上相談員より、安田小学校との交流、安来2中の生徒の職場体験についての報告を行う。

3.内部研修について

谷上相談員より、5.6月に実施した内部研修についての報告を行う。

議題の報告事項が全て終了し、補足説明、また、参加者の方からご意見ご感想等を伺う。

遠藤サブ「飯橋様の一時帰宅の報告がありましたが、飯橋様のご家族の方はとても協力的で、この帰宅もご家族から提案して頂き、実現しました。2か月連続で帰宅が出来ています。また、ペーストの方の食事支援についての報告では、普段食べているものではないような特別な物を食べて頂きたいといった思いからこのような取り組みをしています。この報告にあるかぼちゃはユニットで作った畑で採れたものです。」

谷上相談員「ペーストの方であっても、皆さんが食べているような普通の食事を食べたいと思う事ももちろんあるかと思いますが、ご利用者の評判はどうでしたか。」

遠藤サブ「とても好評でした。うなぎを食べに行った東條様は、幼少期のおばあさんが作ってくれたナマズのかば焼きの味が忘れられないと良く話しをしておられ、先日購入し、食べて頂く事が出来ました。とても喜んで頂けたように感じています。」

谷上相談員「そうなんですね。皆さんは食べられた事がありますか。」

河野様「私はありますよ。肉厚でとてもやわらかいですよね。」

秦様「小さいころの思い出は、良く残っているものですよね。」

河野様「外出は基本的に職員とご利用者が一対一の形でしょうか。」

谷上相談員「基本的には一対一ですが、概ね自立されている方と外出をする時は、2名を一人でお連れする事もあります。デイサービスでは外出支援などもされていますか。」

河野様「デイサービスも外出はしますが、基本的には車の中からの花見などでしょうか。車外に降りる事は少ないように感じています。」

秦様「食事の報告を読んでいると、皆さん食欲が旺盛ですね。」

遠藤サブ「普段の食事とはまた違ったものをお出ししているので、皆さん良く食べられています。」

河野様「海苔巻きは食べにくい事はなかったでしょうか。今は百均などでも食べやすく出来る商品もありますよね」

遠藤サブ「食事がしっかり食べれる方のみにお出ししましたので、今回は問題なかったように思います。」

河野様「みなさん、買い物は行きたいとご自分で言われますか。」

遠藤サブ「自分で行きたいと言われる方も中にはいらっしゃいます。先日もまるごう等に買い物にも行きました。」

小松原様「細かいところで恐縮ですが、報告書に入所者と入居者とありますが、違いはありますか。」

遠藤サブ「厳密な違いはありませんが、ユニットでは入居と呼んでいます。」

小松原様「以前から気になっていたのですが、ご利用者様方などの言葉使いはいかがなものでしょうか。確かに入居されている方を大切にされる気持ちは分かりますが、ここまで丁寧に言う必要があるかはわかりません。」

谷上相談員「ご利用者の呼称に関しては施設で統一出来ていないのが現状です。小松原様がおっしゃるようにごと様と一緒にいる事は少し私も違和感を感じます。施設として、どのようにご利用者をお呼びするのか検討が必要ですね。」

小松原様「入居されている方はお酒やたばこなんかは出来るのでしょうか。」

谷上相談員「基本的に生活の場ですので、主治医の判断で良ければ可能かと思われれます。実際に飲酒をさせていらっしゃる方もおられました。」

小松原様「職場体験や、小学校の交流の報告書を読まさせていただきましたが、とても良い取り組みをされていると感じています。小学校の報告書に『手ですることを嫌がるけど、手でしないと落ちないからがんばる』といった事が書いてありますが、これは、それほど汚れがあったのでしょうか。それか、お年寄りの方が利用されているから掃除に抵抗があったのでしょうか。」

谷上相談員「この時は汚れがひどい車いすでした。どうしてもご利用者も自分で食べようとされる時に食べこぼしがある方もいらっしゃり、汚れが蓄積してしまっている車いすもあります。この掃除は本来であれば職員の仕事ですが仕事の大変さを感じて頂く取り組みとして、子ども達にも一生懸命掃除をしていただきました。この報告書の女の子は最後まで一生懸命に掃除を頑張ってお下り、とても立派でした。最後に褒めてあげるととても嬉しそうなお様子でした。子どもの時から施設やお年寄りの方を身近に感じてほしいと思って交流活動をしています。」

佐伯様「この交流会は3回行って、全員が全ての交流に参加できるようになっているのでしょうか。」

谷上相談員「はい、そうです。次回は10月に交流を行う予定にしています。」

永井様「前日も伺ったかもしれませんが、以前虐待の研修に参加した時に入所者から職員に対する虐待もあると聞いたのですが、大丈夫でしょうか。」

谷上相談員「入居されている方からの虐待といった行為はないように思います。確かに認知症の進行に伴う問題行動がみられるご利用者はいらっしゃいますが、環境や関わり方を変える事で、問題行動が軽減することも多くあります。また、そのような問題行動に対し「虐待されている」といった認識の職員は、自施設にはいないと思っています。」

小松原様「入居されている方の多くは頭がしっかりされているのでしょうか。手足が不自由なのでしょうか。買い物等は自分で支払をされますか。」

谷上相談員「入居されている方の多くは要介護4.5の方です。身体的に不自由であったり、認知症の症状がある方もいらっしゃいます。買い物はご自分でされる方や、職員が手伝いながら買い物をされる方もいらっしゃいます。」